

2年生日本史選択者による賀露神社での史料調査

7月26日（日）、本校2年生日本史選択者3名が賀露神社にお邪魔し、ふすまの下紙に使われていた江戸時代～大正時代くらいまでの古文書を剥がしとる作業のお手伝いをさせていただきました。

はじめに賀露神社の岡村さんに、概要の説明と作業の仕方を教わりました。（写真1）



下紙には和紙が使用されており、少々濡れたくらいで破れることはありません。丁寧に一枚一枚、昔の貼付作業とは真逆の手順で古文書を剥がす作業を行っていきます。（写真2）



作業の途中、史料に目を通しながら進めていきます。いずれも、昔の賀露神社の様子、ひいては鳥取地方の動きなどがわかる、貴重な資料ばかりでした。

この作業を通じて、西高生が、未公開の歴史文書をはじめてひも解くことになります。ガンバレ、未来の歴史研究者！

本日の成果物です。段ボールにして・3箱くらいの量になりました。（写真3）



このような機会を設けてくださいました賀露神社のみなさま、ありがとうございました。